

Sumitomo Mitsui Banking Corporation Brazil DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

マーケットサマリー

先週末のドルレアルスポット相場は、軟調な原油価格を背景に序盤はレアル売り優勢の展開となったものの、一部地元紙が、「与党・労働党(PT)の主要メンバーが、ブラジル最大の汚職事件に関連し、司法取引に応じた」と報じたことを受けて、引けにかけてはレアルが買い戻され、4.02台前半で取引を終えた。市場の一部で、「ルセフ大統領が退陣を迫られ、新たな政権が成長回復と財政立て直しに注力する道が開ける」、との期待感が高まったことから、ボベスパ指数も一時前日比1%超まで上昇する局面が見られた(最終的には0.2%高で取引終了)。米格付け会社S&Pが、「ブラジル政府に財政収支を均衡させる力はない」として、17日に追加格下げに動くなど、同国の財政立て直しに対する取り組みに懐疑的な見方が強まっている。政府は今年、250億レアル前後の歳出削減を計画しているものの、この数字は2015年削減分の40%程度にしか過ぎず、プライマリーバランスの黒字を対GDP比で0.5%相当とする目標の達成には不十分であるとの解釈が優勢となっている。Barbosa財務相がGDP比1%前後の赤字を許容する財政目標バンドの導入を検討していると報じられているが、市場の懸念は当面継続すると予想される。

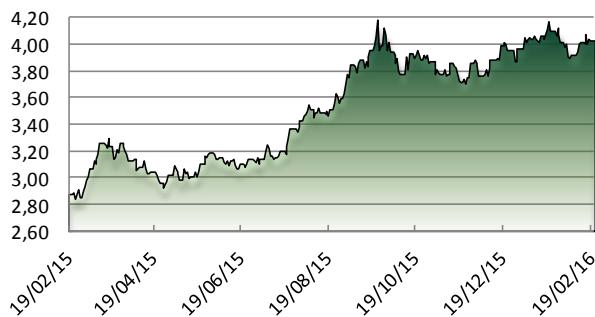
ブラジル中銀のTombini総裁は18日、「先月金利を据え置いたのは、原油安や中国経済減速で今年に入り世界的に景気の不透明感が強まったためであり、政治的介入はなかった」との見解を示した。

マーケットデータ

Indicator	Unit	2月18日	2月19日	前日比	1月19日	1ヶ月前比
レアル	対ドル	BRL	4,0295	4,0220	-0,0075	4,0641
	対円	JPY	28,11	28,00	-0,11	28,95
	対ユーロ	BRL	4,4723	4,4801	+0,0078	4,4400
円	対ドル	JPY	113,24	112,63	-0,6100	117,64
	対ユーロ	JPY	125,78	125,31	-0,47	128,31
Bovespa (ブラジル株価指数)	Index	41.478	41.543	+65	38.057	+3.486
CDS Brazil 5yrs (クレジット・フルストップ)	bps	480,5	474,1	-6,4	494,6	-20,5
Brazil 10yrs Gov. Bond	%	16,05	15,92	-0,13	16,51	-0,59
DI Future Apr17 (金利先物)	%	14,44	14,36	-0,08	15,71	-1,35
3 Months US Dollar Libor	%	0,619	0,619	+0,000	0,624	-0,005
CRB Index (国際商品指数)	Index	161,9	159,6	-2,3	159,5	+0,1

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。

ドルレアルスポットチャート



レアル円スポットチャート

